

運動会直前！今年は紅白どちらが優勝か？



# おひやり

No.345  
令和3年10月10日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

## 運動会

園長 藤本光世

運動会は9月26日が予定日でした。前日から雨が心配されたのですが、朝、あがっていたので、できるのではないかと平日日課（6時起床）で、テントや運動会の用具をすべて山崎公園に持って行って、トラックの白線まで引いて、すぐスタートが切れるように準備をしたのです。

ところが、予報通りに8時半を過ぎると本降りになり、中止にせざるを得なくなってしまいました。早く中止の決断ができなくて、職員や子どもを振り回してしまい、体が雨に濡れたり、アーチ等を作り直さなければならなくて、申し訳ありませんでした。反省しています。

雨が小降りのうちに一度やっておこうと行った、応援合戦（集団演舞）のリハーサルを観ることができました。今年の集団演舞は、扇子演舞です。5年前の平成28年の第3回運動会の中高生パフォーマンスです。それは、ホームページの子どもの近況の動画一覧で観ることができます。

リハーサルでは扇子を持たないのに、腕の振り、体のさばき、集団の動きなどすごかったです。センターの子が入替わり、笑顔で号令をかけます。演技の切れ味が良いです。そして、何よりも全員が一生懸命練習してきて一糸乱れずの集団パフォーマンスがすごいです。子どもたちが笑顔で、集中して演舞する姿に、涙が出ました。

私は、高校の教員をしていましたので、文化祭のクラス対抗でこのような演舞をやりたかったのです。でも、長野県ではできませんでした。愛育園の扇子演舞は、どこの高校の文化祭などのパフォーマンスよりすごいです。中学校でもやっていないと思います。扇子演舞で、今の愛育園の子どもたちの凄さをぜひとも知ってほしいと思いました。

運動会は10月3日に一週間延期しました。会場は同じ山崎公園です。この日をすでに確保していたソフトボールのチームが譲ってくださいました。26日に続いて、二度も譲ってくださいありがとうございます。3日は何としても晴れてほしいです。

## 行事の価値

運動会が近づくにつれて、子どもたちの表情が違ってきました。

（令和3年10月10日発行 月刊「円福」493号付録）

じつは、二学期が始まったばかりのころ、教室に入れない子がいたり、ちょっとした事件があったり、不穏になる子がいたり、いろいろと心配していました。学校と連携して、授業中の廊下に職員が付くようにしたり、子どもたちと対話を重ねたりして落ち着いてきましたが、なんといっても運動会に向けて子どもたちが一生懸命になったことが大きいです。テストが近くて、勉強が忙しかったり、部活があったりで、時間が足りないほどだったと思いますが、子どもたちが一生懸命に集中し充実して毎日過ごしていることが表情に表れ、生活が落ち着きました。それは、おまいりの大きな声で分かります。

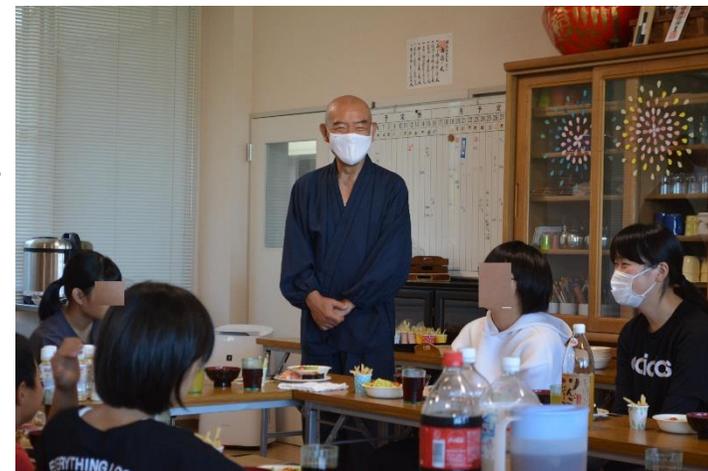
愛育園の養育の特長である、集団を生かした養育で、行事はとても重要です。

「俗人閑居為不善」と言うように、人は閑<sup>ひま</sup>にしてはいけません。忙しいほうが良い。忙しくてできないは、ウソなのです。忙しいほどできるのです。ある子が、就職試験の勉強があるので、運動会の練習ができないと言いました。嘘です。両方とも一生懸命やることによって、合格できるのです。集中して、力が伸びるのです。

子どもの幸せとは、何でしょうか。その一つに、自分の持っている可能性を拓くことがあると思います。誰もが自分の可能性が分からないのです。そして、それは隠れているのです。一生懸命やって表に出てそれが可能性の実現で、自分なのです。表に出なければ、いくらうまいことをいってもそれは自己ではない。自己にならない。だから可能性を伸ばすことを自己実現と言います。豊かな才能を持っていても、努力してそれを表さなければ持っていないのと同じです。いくら頭が良くても、学校で学ばなければ、それは拓きません。無知と同じです。

可能性は、拓けと言っても拓かないのです。投げ入れられた環境で、一生懸命にやるしかない。一生懸命にやることに、集団は大きく寄与していると思います。彼がやるから自分もやろう。自分もできる。みんなができるのだから自分も、と自分を鼓舞できるのです。だから、永平寺では集団で修行するのです。これを集団の大威神力と言います。子どもを幸せにするのが、社会的養護の努めです。目的です。その目的に円福寺愛育園の養育は適っていると思います。自分の可能性を拓いてもらっていると、一生懸命生活する子どもたちは分かります。それは、楽しいことなのです。だから、愛育園の子どもたちはみんな明るいのです。そして健康的なのです。

明るく、健康的な理想の家庭、これが愛育園です。家に閉じこもらず野原で集団で遊ぶ子供たち。外の行事に一生懸命取り組む子どもたち、勉強を頑張る子供たち、お掃除もおまいりも頑張る子供



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

たち、そのように子どもたちを育てて、子どもたちを幸せに導きたい、これが愛育園の願いです。  
今年の運動会もこの願いに適った素晴らしい運動会になりそうです。  
皆さま、ホームページに動画を掲載するので、ご覧になってくださいね。

## 第6回愛育園大運動会

主任保育士 石崎早織

9月26日に第6回愛育園大運動会が開催される予定でしたが、朝から雨が降ってしまい、泣く泣く延期という形になりました。ですが、10月3日に運動会を行えるようになりましたので、運動会の様子は次回のおもいやりにかかせていただこうと思います。なので、今回は運動会に向け子どもたちの頑張っている姿について書かせていただこうと思います。

今回は応援合戦の小学生の部を担当することになりました。ここ最近では私も中心となって行う事は少なくなったので、子どもたちにどう教えるか、どこまで子どもたちに挑戦させてあげられるか、楽しみもあり、不安もありました。小学生の応援合戦は毎年組体操をメインに行っていますが、8名と小学生の人数も少ないため、技の種類を決めるのもとても難しかったです。しかし、体を使うことが大好きな子どもたちも多いので、今まで挑戦したことのない技をぜひやりたい！！と思い、係の先生と相談し、9月11日から練習をスタートしました。子どもたちに発表する技を紹介したときに、最初は「えー無理かも・・・」と弱気な発言をしていた子もいましたが、みんな練習の時間になると、普段の顔とは違い、集中して一生懸命私の話を聞いてくれる子どもたちの姿がありました。次はどんな技をやるの、どうやったらきれいに技が決まるかな？など、どんどん意欲が高くなっていく子どもたちの様子を見てとても嬉しくなりました。一人技で一番難しかったのは「かえる倒立」です。これは腕の力で体を支え、足を浮かせる技になります。まだまだ力のない子もいるため、自分の体重をうまく支えられなかったり、バランスをとるのが難しい子もいました。なかなか技がうまく決まらない子どもたちに、私は「宿題」を出すことにしました。明日の練習までに



「かえる倒立」を練習してできるようになってくること！と子どもたちに伝えると、本当に素直に話を聞いてくれ、それぞれホームに戻って部屋で練習していました。子どもたちの努力があり、今ではみんな立派に技を決められるようになりました。今では小学生の姿を見て幼児さんたちも組体操の真似をして楽しんでいます。まだ書きたいことはたくさんありますが、次回は運動会当日の様子をお伝えしたいと思います

(令和3年10月10日発行 月刊「円福」493号付録)

す！！運動会まであと3日！最後まで練習に励み、最高の応援合戦を披露できるように子どもたちと心を一つにし頑張ります！！

## 運動会までの素晴らしき青春の日々



主任指導員 富沢正樹

9月26日、予定していた愛育園運動会が雨のために行う事ができませんでした。一週間延期して10月3日に改めて運動会を開催する予定ですが、今月号には間に合いませんので来月号にその様子を掲載したいと思います。

今月号はタイトルにある通り、子ども達の運動会までの日々の様子をお伝えしたいと思います。

まず、今年最も力を注いでいたのは中高生の応援合戦の演舞練習でした。今年は、5年前に一度やった事のある高難易度の扇子演舞を復活させ、子ども達に成功させることを自分自身の大目標に掲げました。

まず初めに、共に5年前を知る主任保育士の石崎先生が「子ども達とレベルの高いものに挑戦する機会もしばらくなかったし、いいじゃんいいじゃん。青春じゃん。」と賛同してくれました。次にホームの先生方が、子ども達に教えられるようにと、先回りして振り付けをどんどんマスターしてくれました。おかげで、初めて課題を発表した時には不安そうにしていた子も前向きに練習に取り組んでいました。

中学生や高校生は大人と子供の狭間の年代です。自立に向けて、また、大人になっていくにあたって、力をつけていかなければなりません。普段の生活では、「子ども達が安心感をもって生活できるように」と私たち職員は尽力していますが、それと同時に、稚心を捨てて困難な状況に立ち向かう強い心を育む事も大切にしています。

私たち職員の存在が勇気を与えられる事と子ども自身が勇気を持つ事。その二つ想いが運動会中の応援合戦に込められています。今回、沢山の先生方がその想いを共有してくれて、さらに子ども達も一生懸命練習してくれて、練習日以外も自主練、朝練と時間を見つけては振り付けを覚えてくれました。振り付けが合う一体感。同じ目標に向かって努力する一体感。「楽しい！！」とみんなの心が高揚する一体感。子ども達は自分の成長を喜び、自己成長を喜ぶ子ども達の姿を見て職員も喜び、応援合戦を通して、子供と職員が共有する時間が自然と長くなっていく様子が本当に良かったです。

正直な所、5年前の児童の扇子演舞はレベルが高かったので、今年は少しでも近づければ大成功と思っていました。口では、「5年前の演舞を超えるぞー！」と鼓舞するために言っていました、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

いつの間にか本当に5年前以上のレベルに仕上がっていました。子供達や先生方のやる気を侮っていません(反省)。きっとこの扇子演舞は大成功します。そして、終わった後には、もしかしたら前より少し凛々しくなった子ども達の姿に変わるかもしれません。いえ、そんなに簡単には変わりません。でも、運動会までの素晴らしい3週間で過ごせたという事は本当の事だし、子ども達の心の中に刻まれた事も本当の事です(職員の内にも)。そういう経験をいくつも積み上げていく事が何よりも大切だと思います。

応援合戦以外にも、かけっこ、綱引き、マラソンなど沢山練習して臨む運動会。次号、本番の様子をご報告させていただく事を今から楽しみにしています

#### 運動会に向けて



練習を例年以上に頑張ってきました。

小学生の方は短期集中型で、限られた時間の中で集中して練習をこなしていきました。メンバーも昨年と比べるとだいぶ変わってはいたのですが、この子たちで大技や人を感動させられる演技ができるのかなという不安もありましたが、みんな、自分の課題を理解し、それぞれ努力する様子が見られました。石崎先生からの宿題にも前向きに取り組み、1秒でも長く技を保っていられるよう必死で練習していました。また特に2年生のY君ですが、まだまだではありますが一皮むけたように思いました。最初は落ち着かず、他の子が演技している間も待つことができていなかったのですが、練習を重ねるごとに、集中力が増していき、職員が言わなくとも、じっとしている所ではピシッと立つことができるようになりました。

中学生の方は例年以上に練習の時間を取り、全体練習以外にもホームで各自個人練習を重ねました。子どもによっては朝5時半から自主練をする子もいて、夜遅くまで練習しているにも関わらず、真剣に練習に打ち込みました。一緒に練習にも付き合い、まるで高校の時の文化祭の練習をしている気持ちを思い返すようでした。内容も昨年よりもはるかに上がっており、私自身ちゃんと人前で

あおぞらホーム 石龍成己

今月号では盛り上がりださる運動会の様子をお伝えできればと思いましたが、雨の為延期となってしまったため、これまでの練習・準備の様子を振り返りたいと思います。

運動会前、子ども達・職員はマラソン練習、小学生の組体操、中高生の応援合戦の3つの練習を行ってきました。中でも、今回は特に組体操・中高生の応援合戦の練

(令和3年10月10日発行 月刊「円福」493号付録)

見せられる物で仕上がるか心配ではありましたが、それ以上にまわりの真剣さに圧倒されることがあり過ぎて、とてもエネルギーを与えられて練習に取り組むことが多々ありました。

26日に本番が迎えられず、残念ではありましたが、楽しみが1週間伸びたと思ひ、もっと良い演技を披露することができるよう、研鑽を重ねて行きたいと思ひます。

#### 運動会練習について

あおぞらホーム 金井雄大

9月26日に予定されていた、愛育園運動会は雨の影響で翌週の10月3日に延期になりました。運動会の練習のようすとして、応援合戦を小学生は組体操、中高生は扇子を使った演武を行いました。

自分は主に組体操の指導にかかわりました。一人技は、ブリッジや水平バランスなどを行い、中でもカエル倒立という腕力のみで自分の体を支えるわざは最初にはできない子も数人いましたが、練習が進むにつれて、全員出来るようになりました。その背景には、練習時間以外の所で自ら練習する姿がありました。

二人技では、高学年の子が土台となり行う技が多かったですが、さすが高学年、年下の子をしっかり支え問題なくサポテンや肩車ができるようになりました。三人技や五人技、全体技では職員も入り、大きく見せる技が多く、配置なども複雑でしたが、子どもたちは、どれもしっかり行えるようになり、今から本番が楽しみです。

応援合戦以外にも、競技の練習は2・3回行い、職員の自分も勝つために熱くなることもありました。本番では白組が勝つために精一杯、出せる力を出したいと思ひます。

#### ホーム食



あおぞらホーム 山田忍

9月19日 ホーム食を行いました。今回のホーム食はいつものように皆と一緒に作るホーム食とは違い、子ども達には内容を隠したままのサプライズという形で「お寿司の食べ放題」になりました。子どもたちは食堂に入って初めてホーム食がお寿司であることがわかり、テンションも上がっていました。みんな競い合うよう

に「何貫たべたよー」と報告に来たり無中でほおぼっていました、調理の先生にサラダやフライドポテトも作って頂き、まごころホームの女子はゼリーを作ってくれてコロナで外食もできない中でも楽しいホーム食になったと思ひます。

あおぞら ホーム食 児童感想



9月19日にホーム食をやりました。9月26日の運動会に向けて、頑張るために、全体でのホーム食でした。今回のホーム食で出たご飯はすしです。みんなのために、T先生が買ってきてくれました。すしを食べる数を決めて、目標20個食べることに決めました。すしの種類は何種類もありました。特においしかったのが、イクラの巻きずしです。コロナの中、なか

なか誕生日外食が行けません。その中でも、愛育園ですしが食べられることにとても感謝しています。色々なおすしが食べられおいしかったです。30個食べました。おいしかったです。またホーム食がある時、いっぱい食べたいです。

(小6・K君)

お昼ごはんはおすしでした。色々なおすしがありました。ぼくは、13個食べました。おいしかったです。ポテトもありました。僕は13個食べた後、ちょっと休みました。ちょっとしたら公園に行きました。

(小4・T君)

きょうのホーム食は、つくるのではなく、たべるホーム食でした。ホーム食には、おすしが出ました。おすしのあじは、まぐろ、いか、サーモン、えび、ハンバーグチーズ、コーンクリーム、サラダ、いくら、あぶりがありました。おいしかったです。

まごころ ホーム食 児童感想

ホーム食

「みんなが喜ぶホーム食だよ」と聞き私は、何を作るのか色々考えていました。お肉パーティかな？フルーツとかも出るのかな？と当日まで期待を膨らませていました。

そしてホーム食当日には贅沢過ぎる「お寿司パーティ」が行われました。私はお寿司をあまり食べたことがなく、沢山の種類を食べてみたいと気合を入れて食べ始めました。普段はなかなか食べられないお寿司がお皿いっぱいにあるのは、こういう機会ならではだと思いました。

(令和3年10月10日発行 月刊「円福」493号付録)

途中からサーモンなどのネタを炙りにしていました。炙りは食べたことが無かったので試しに食べてみると、炭の苦みとサーモンの柔らかさが口の中に広がって美味しかったのでおかわりを何度もしました。

ただ食べて美味しかったねというホーム食ではなく、先生達が運動会の1週間前だから頑張ろうね、と応援しようという気持ちや行事前の生活態度などから、このお寿司パーティをやろうと企画してくれました。いつものホーム食も普段の生活があってやろうとなります。こんなに良いホーム食になり、私は運動会に向けて今までより更に本気でやろうと思っています。一時は進路のことがあるからと言い訳をして真剣にやる事が出来ませんでした。この悔しさとホーム食の思い出を胸に、運動会を成功させて残り半年しかない園での生活をより有意義なものにしていきたいです。

(高3・Aさん)

ホーム食

9月19日にホーム食をやりました。今回のホーム食は皆で作るのではなく、お寿司を食べました。イカ天やいくら、マグロなど沢山の種類のお寿司がありました。

このホーム食は運動会を頑張り、成功させるために先生達が計画してくれました。

私が食べたのは、いくらやサーモン、コーンの軍艦イカ天、お肉のお寿司を食べました。特に美味しかったのはコーンの軍艦とサーモンです。

このお寿司を食べたことを力に変えて運動会を頑張りたいです。



(中2・Mさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 畔上裕吾

9月は第6回愛育園大運動会に向けての練習がスタートする時期となりました。あおぞらホームでは、応援合戦に向けて扇子の練習やあおぞらの中高生・職員で作上げる空手の演舞の練習に日々取り組んでいます。空手の演舞では息を合わせ、頭の位置を揃えることから指先を揃えるところまで意識をし、繰り返し動作を確認しながら練習しています。S君は練習を始めた頃中々動作を覚えられず、苦戦していました。ですが、今では周りの子供たちの教えもあり上達し成長している様子が

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

みられます。残念ながら運動会は延期となってしまいましたが、本番では練習の成果が発揮できるよう残りの期間で精度を高めていきたいです。

まごころホーム日より

まごころホーム 竹内早季

2学期もあっという間に1ヶ月以上経過し、今ちょうど中高生の間テスト期間になっています。コロナの影響で高校生はリモート授業や分散登校があり、なかなか授業が進まなかったところもあるようで、例年通りとはいかない2学期のスタートになってしまいました。そんな中でも毎日日課を超えてそれぞれが自分の立てた勉強計画に沿って一生懸命取り組んでいました。まごころホームの中高生のすごいところは、19:30からの学習時間の5分前にはほぼ全員揃って学習を始めているところだと思います。その頑張りが結果に表れるといいなと思いました。また、9月26日に第6回愛育園運動会を予定しており、それに向けて幼児から高校生までマラソンや応援合戦の練習に励んできました。幼児、小学生のダンスはあっという間に振り付けを覚えてニコニコ笑顔で踊っています。小学生の組体操では、真剣に練習しており、最初は怖くてできなかった二人技も今では堂々と背中を伸ばして披露することができます。そして、中高生の応援合戦の演舞は5年前の中高生が披露した扇子を使ったパフォーマンスを再度やることになり、難易度が高いものでしたが、決められた練習日程以外で毎日各ホームで自主練習して、今まで以上の完成度になりました。まごころでは休日に2時間続けて練習した日もあり、子ども達も本気になって取り組めて充実した時間を過ごすことができました。当日は残念ながら雨で延期になりましたが、次の日程まで力を溜めて、全力を発揮出来たらいいなと思います。



調理室日より

調理 大下はる江

お彼岸が過ぎ、見上げる空も高く澄み渡りとても気持ちの良い季節となりました。先日、愛育園の畑からさつま芋のツルを採ってきて頂き炒り煮にして朝食に出してみました。収穫の後に、畑に置き忘れられるツルですがおいしく食べられる事を知ってもらえればと思いましたが、子ども達の反応は様々で「おいしい」の言葉をもらえました。

(令和3年10月10日発行 月刊「円福」493号付録)

——今月のお誕生日メニュー ——

- 1日 ラーメン(焼豚、ゆで卵、メンマ、なると、ねぎ) 餃子、ポテトサラダ、スペシャルゼリー
- 25日 ざるそば(大根おろし、ねぎ) 牛肉角煮、カミカミサラダ、ジュース

——おやつ——

マシュマロおこし、ホットケーキ、さわやかゼリーポンチ  
チョコチップマフィン、にらせんべい、おはぎ  
麩のラスク、団子、フレンチトースト、ババロア

——愛育園大運動会 お弁当——

- 26日 おにぎり(鮭、若菜) しそ巻きロールカツ、ハム巻ききゅうり、ナポリタン、キャラクターかまぼこ、ブロッコリー、ミニトマト(園の畑から)

食欲の秋、たくさん食べて大きくなってね。



【次号】運動会の熱戦の様子お伝えします！

